

# News Letter

まち  
R.L.C

Vol.17

23年3月

六甲アイランドまちづくり協議会

## 平成22年度 活動報告

私たち六甲アイランドまちづくり協議会は、多くの住民の皆様や多方面のご関係の方々のご指導のもと、お陰さまで活動の内容も充実し、街の発展に寄与できる体制が整って参りました。ここに、私たちの本年度の活動をご報告するとともに、現状の六甲アイランドが抱えている問題を、皆様と一緒に考え、安心安全で快適なまちづくりを行う提案をしたいと考えています。



### 住民を増やそう！

六甲アイランドの開発当初の構想人口は、3万人でありましたが、震災や経済の停滞など大きな影響をうけて、平成23年1月末現在17,769人にとどまっております。

私たちは、街の発展を促す一つの要素に「住民を増やす」ことであると考えています。しかし、まだ開発が行われていない市所有の空地が点在しており、住民の増加を促すことは、島外からの来訪者や商業店舗の復活などの好循環につながると信じ行政と協働して、六甲アイランドの「景観・環境を守り」ながら、まちなかの「活性化を図る(街を元気にする)」ことが急務であると思っております。



### 景観・環境を守ろう！

昭和63年に、神戸市によって制定された「六甲アイランド都市機能ゾーン・景観形成計画」は、私たちの街の未来像を明確に示しています。これは私たち「まち協」のバイブル的存在であります。

この計画に沿って、街の開発が行われましたが、平成7年の震災を境に、行政は復興を急ぐあまり、この大切な「開発のガイドライン」に基いた開発指導を置きざりにしている感があり、その後の開発に問題が生じているように思われます。即ち、私たちは島外の他の街と同様に、無秩序に景観・環境を無視した開発が行われることに大きな疑問を持っております。

当初につくり上げられたすばらしい街の景観・環境は、住民共有の財産であり、この景観・環境を都市機能ゾーン全体に広げ、整った街並みを完成することを熱望しています。

\*平成21年度に実施した

①景観形成計画の勉強

②まちかどウォッチングと課題の抽出 から 次の平成22年度活動目標を設定しました。

- 地区計画(街角広場)の追加・変更構想案の策定及び神戸市長への提案活動
- 街路に愛称をつけよう活動

#### ● 地区計画(街角広場)の追加・変更構想案

六甲アイランドの景観を構成している最も重要なポイントの一つに「街角広場」があります。多くの街路の角に、広い空間とデザインされた広場、そして素晴らしい彫刻などがあります。

この広場は、行政が定める「地区計画」上では、「地区施設」に指定されており、敷地や付帯施設は、それぞれの街区が所有し管理しておりますが、広場を他の目的に使用することはできません。その理由は所有権はあっても、この広場は街全体の景観を構成するもので、住民全体の財産でも考えられているからです。即ち、それぞれが自分達の都合で広場を失くしてしまうと、街の景観は無残になってしまいます。

ところが、島の北半分は、平成8年までの地区計画の変更で指定されておりますが、南側半分は、なぜか実際に街角広場がつかられていても、指定がなされておられません。また空地のところについても同じで、この状態を放置しておけば、将来の街は、更に無秩序な景観になり、住民全体の資産が無くなってしまいます。

私たちは、11回の委員会及び24回の運営会で検討し討議を重ね将来展望を「街角広場の追加変更全体構想案」としてまとめました。そして、3月末までに神戸市に提案をする予定です。

#### ● 街路に愛称をつけよう活動

去る1月に、全住戸に配布いたしました「News Letter Vol.16」でもお知らせいたしましたとおり、景観形成計画にも記述され、また、利便性に欠けている住居表示と街区の呼称の違いの解消、そしてこの活動を通じて、住民の皆様にも、まちづくりのバイブルである「景観形成計画」を知っていただき、行政が掲げた「海上文化都市」を住民参加で構築する第一歩と位置づけて、平成21年度より継続してこの活動を行なっております。

特に、活動の前提になる重大な課題は、私たちの単独事業ではなく、街全体の活動として実施できるかであり、街の他団体との協働体制が計れるかどうかと言うことでした。

(裏面に続く)



# 六甲アイランドまちづくり協議会

そこで、本年度の活動の中心を「街全体に周知・啓発する」として「街の活性化」活動と相まって次の通り実施いたしました。

- \*CITY 自治会への説明と協働要請をしました。
- \*RIC サマー・イブニング・カーニバルへの参加。
- \*「まちかど会議」で説明と協力要請をしました。
- \*広報紙の発行。
- \*「六甲アイランド基金」へ助成申請をしました。

活動結果として、CITY 自治会をはじめ、多くの団体・事業所、また学校関係やたくさんの住民の皆様のご賛同を得ることができ、平成23年5月以降の活動推進を準備しております。

## ま ちを元気にしよう！

平成21年夏に行なわれた「神戸市商業地商圈実態調査」報告によると、震災をさかいに六甲アイランドの街の活力は低下し、経済の減速もあって、まさに離れ孤島の様相になってきました。大型集客施設や量販店の撤退、外国投資ファンドによる商業施設の買収による「地域帰属意識」の低下など、残念ながら先が見えない状況であるといえます。

さらに、頼みの綱であった行政も、財政逼迫のあおりから手立てがないとも言えます。またいろいろな助成金たのみのイベントで街の活性化を図ろうとした企画も、街の団体間の連携・運動も乏しく、街の活力（にぎわい）をとり戻せてはいません。

私たちは、この現状を打開するために次のことを考えました。

- ① 街の経営は、住民自らが主体となって行なうこと。
- ② あらゆる団体が一致団結して、総合力を発揮すると。
- ③ 行政等からの助成金たのみから脱却し、自立・運営する方策を練り上げること。
- ④ 中期計画を策定し、行政はもとより住民・事業者の協働体制をつくること。

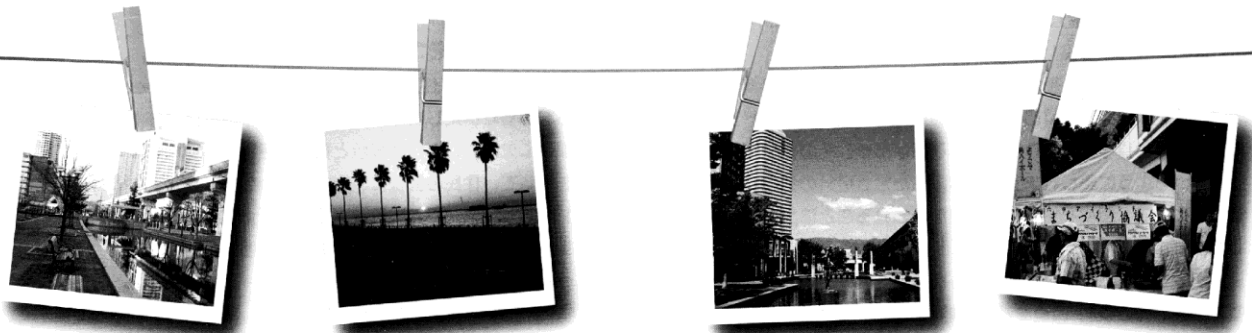
そこで、私たちは次の活動を行ないました。

- \*積極的に、主要団体との交流をはかり、意見交換や協働体制をつくることになりました。
- \*CITY 自治会、地域振興会と協同して「六甲アイランドまちのにぎわい創出実行委員会」の設立に参加しました。
- \*「まちかど会議」の再開に協力し、主要メンバーとして事務局の役割を果たしました。
- \*「まちかど会議」では、「街路に愛称をつけよう」活動を紹介し、皆様のご協力を頂けることになりました。

### その他の活動

- \*業務・商業地区における敷地内電柱について、行政などに要望の結果、道路の見通し線確保と景観を損なうおそれのある範囲内には、電柱が敷設できない運びになりました。
- \*こうべ楽座&夜市=わがまちを語る会2010に参加しました。
- \*東灘区まちづくり協議会 連合会に参加しました。
- \*広報紙は4回発行しました。

私たち、まちづくり協議会は、神戸市の支援を受け、主として都市計画に関し、活動を展開しています。六甲アイランドの住民や事業者の皆様との合意形成を図りながら、街を発展させていきたいと願っております。



### 街のニュース

#### \*「まちかど会議」久しぶりに開催

六甲アイランド60団体ほどのネットワーク「まちかど会議」が、3年ぶりに去る2月20日（日）にRICふれあい会館で、参加26団体58名出席で開催されました。参加の全ての団体から近況や事業内容の紹介があり、またCITY自治会からは、防災訓練の説明と「まちのにぎわい創出実行委員会」の設立経緯と目的、及び協力要請を、まちづくり協議会からは、「街路に愛称をつける」活動の紹介と協力要請が行なわれました。多くの参加者が、本会議の継続開催を熱望していました。

発行人  
六甲アイランドまちづくり協議会  
責任者 高寺 正

お問い合わせ【事務局】  
FAX : 078-857-7376  
e-mail : info@ric-machikyo.jp  
HP : http://www.ric-machikyo.jp